

穴掘り生活を消費生活に！（穴掘りさんの提供情報☆）

♠2023, 12, 25(コピペ可4)

①川に国内の全エネルギーの数十倍は取り出せるエネルギーが存在しますが情報規制されています（「水力発電ではなく川に全エネルギーの数十倍は取り出せるエネルギーが存在する」という国にとって大切な情報ですからそれを調べたり、伝えないようにするのは大罪です。一部の政治家の罪も情報規制されています）

②資源を大切（リサイクル）にする事で好ましい物価上昇が持続可能です

③①と②からベシックインカムが可能になり、景気拡大により額が増えることを期待するワクワクする生活が始まります

♠グレタさん 私も昔 ぐれました（中学2年生の時に、田子の浦のヘドロ画像と共に、目の前が真っ暗になって校庭に倒れました）

♠詩 37:31 神の教えを心に抱き／よろめくことなく歩む。

♠ $1 [j] = 1 [w] * 1 [s]$ 、 j はジュール、 w はワット、 s は秒、 $1 [j]$ は $1 [w]$ の電流で1秒間電流を流した時に発生する熱量です。

$1 [j] = 1 / 2 * M * V^2$ 、 M は質量 $[kg]$ 、 V は速度 $[m/s]$ 、 m はメートル、 s は秒

∴ $1 [w] * 1 [s] = 1 / 2 * M * V^2 [kg * (m/s)^2]$ ・・・この時の M は $2 kg$ 、速度 $1 m / 1 秒$ と考えると分かりやすい。

川幅4000cm、深さ90cm、速度 $1 [m] / 1.5 [秒] = 0.67 [m] / 1 [s]$

$M [kg] = 1 / 1000 * 3000 [cm] * 70 [cm] * 67 [cm] = 14070 [kg]$

$1 / 2 * M * V^2 [kg * m^2 / s^2] = 3158 [kg * m^2 / s^2] = 3158 [ws]$

効率2割として $0.2 * 3158 [ws] = 0.632 [kws]$ 注；効率は場所によって変わるので詳しくは知りませんがトルクモーター等で測って流れの速度よりほんの少し遅く回転してトルク最大に近い水車及び発電機をつけることになると思う。私の考えでは長年の流れで重力加速分（ $9.8 m/s^2 = 毎秒毎秒$ ）は川の抵抗分と釣り合って等速運動になっているのでここでは $0.67 m/s^2$ が重力加速度分（傾斜で）で川の抵抗分と釣り合っていると思われますので、水車分のエネルギーは1秒後には元通りになっていると思われます。

1時間当たりのkwh= $0.632 * 60 * 60 = 2274 [kwh]$

1日当たりのkwh= $54570 [kwh]$

1か月あたりのkwh= $1637113 [kwh]$

1世帯当たり250kwh／月（30日）とすると $1637113 [kwh] / 250 [kwh] = 6548$ 世帯

1台当たり約6500世帯分の電気を賄える

函南町の柿沢川と狩野川の合流④地点（近くの四日市公民館は海拔たったの12M）からの狩野川部分の水車数及びエネルギー計算（水車と水車の距離を約50メートルとする）

④地点から大場川合流地点⑤の距離約1.21Km∴25台設置で水量は上記と同じなので1台あたり1637113 [kwh] /月なので、

$$25 * 1637113 \text{ [kwh]} = 40,927,825 \text{ [kwh]} / \text{月}$$

⑤から柿田川合流地点⑥の距離約4.4Km∴88台で水量は大場川が加わって（*1.5とする） $88 * 1.5 * 1637113 \text{ [kwh]} = 216,098,900 \text{ [kwh]} / \text{月}$

⑥から黄瀬川合流点⑦の距離約2.0km∴40台で水量は柿田川が加わって（最初の値から*2.5とする） $40 * 2.5 * 1637113 \text{ [kwh]} = 163,711,300 \text{ [kwh]} / \text{月}$

⑦から港大橋⑧までの距離約4.0Km∴80台で水量は黄瀬川が加わって（最初の値から*3.0とする） $80 * 3.0 * 1637113 \text{ [kwh]} = 392,907,120 \text{ [kwh]} / \text{月}$

全部の合計は

$$40,927,825 \text{ [kwh]} / \text{月} +$$

$$216,098,900 \text{ [kwh]} / \text{月} +$$

$$163,711,300 \text{ [kwh]} / \text{月} +$$

$$392,907,120 \text{ [kwh]} / \text{月} +$$

$$= 813,645,150 \text{ [kwh]} / \text{月}$$

これは1世帯250kwh/月として約3,254,580≒325万世帯

静岡県の世帯数 1,555,958戸

約2倍の世帯数の電気がここだけで賄える。

◆2023, 12, 26(コピペ可13)

①川に国内の全エネルギーの数十倍は取り出せるエネルギーが存在しますが情報規制されています（「水力発電ではなく川に全エネルギーの数十倍は取り出せるエネルギーが存在する」という国にとって大切な情報ですからそれを調べたり、伝えないようにするのは大罪です。一部の政治家の罪も情報規制されています）

②資源を大切（リサイクル）にする事で好ましい物価上昇が持続可能です

③①と②からベシックインカムが可能になり、景気拡大により額が増えることを期待するワクワクする生活が始まります

◆財務省 川の力で 生き返る

◆詩 136:25 主はすべての肉なる者に食物を与える方。主の恵みはとこしえまで。

◆1 [j] = 1 [w] * 1 [s]、j はジュール、w はワット、s は秒、1 [j] は 1 [w] の電流で 1 秒間電流を流した時に発生する熱量です。

$1 [j] = 1 / 2 * M * V^2$ 、M は質量 [k g]、V は速度 [m / s]、m はメートル、s は秒

∴ $1 [w] * 1 [s] = 1 / 2 * M * V^2 [kg * (m / s)^2]$ この時の M は 2 k g、速度 1 m / 1 秒と考えると分かりやすい。

川幅 4000cm、深さ 90cm、速度 1 [m] / 1.5 [秒] = 0.67 [m] / 1 [s]

$M [kg] = 1 / 1000 * 3000 [cm] * 70 [cm] * 67 [cm] = 14070 [kg]$

$1 / 2 * M * V^2 [kg * m^2 / s^2] = 3158 [kg * m^2 / s^2] = 3158 [ws]$

効率 2 割として $0.2 * 3158 [ws] = 0.632 [kws]$ 注；効率は場所によって変わるので詳しくは知りませんがトルクモーター等で測って流れの速度よりほんの少し遅く回転してトルク最大に近い水車及び発電機をつけることになると思う。私の考えでは長年の流れで重力加速度分（ $9.8 m / s^2$ = 毎秒毎秒）は川の抵抗分と釣り合っ等速運動になっているのでここでは $0.67 m / s^2$ が重力加速度分（傾斜で）で川の抵抗分と釣り合っていると思われますので、水車分のエネルギーは 1 秒後には元通りになっていると思われます。

1 時間当たりの kwh = $0.632 * 60 * 60 = 2274 [kwh]$

1 日当たりの kwh = 54570 [kwh]

1 か月あたりの kwh = 1637113 [kwh]

1 世帯当たり 250kwh / 月（30 日）とすると $1637113 [kwh] / 250 [kwh] = 6548$ 世帯

1 台当たり約 6500 世帯分の電気を賄える

函南町の柿沢川と狩野川の合流④地点（近くの四日市公民館は海拔たったの 12M）からの狩野川部分の水車数及びエネルギー計算（水車と水車の距離を約 50 メートルとする）

④地点から大場川合流地点⑤の距離約 1.21Km ∴ 25 台設置で水量は上記と同じなので 1 台あたり 1637113 [kwh] / 月なので、

$25 * 1637113 [kwh] = 40,927,825 [kwh] / 月$

⑤から柿田川合流地点⑥の距離約 4.4Km ∴ 88 台で水量は大場川が加わって（*1.5 と

する) $88 * 1.5 * 1637113$ [kwh] = 216, 098, 900 [kwh] / 月

㉔から黄瀬川合流点㉕の距離約2.0km \therefore 40台で水量は柿田川が加わって(最初の値から $*2.5$ とする) $40 * 2.5 * 1637113$ [kwh] = 163, 711, 300 [kwh] / 月

㉕から港大橋㉖までの距離約4.0Km \therefore 80台で水量は黄瀬川が加わって(最初の値から $*3.0$ とする) $80 * 3.0 * 1637113$ [kwh] = 392, 907, 120 [kwh] / 月

全部の合計は

40, 927, 825 [kwh] / 月 +

216, 098, 900 [kwh] / 月 +

163, 711, 300 [kwh] / 月 +

392, 907, 120 [kwh] / 月 +

= 813, 645, 150 [kwh] / 月 = 113万Kwh (原発1基100万Kwh 水車の間隔2.5mだと原発2基分以上です!)

これは1世帯250kwh/月として約3, 254, 580 \div 325万世帯

静岡県の世帯数 1, 555, 958戸

約2倍(水車の間隔2.5mだと4倍)の世帯数の電気がここだけで賄える。